臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

完勝國策へ民意上通
擧國一丸伏敵の決意
眞價を發揮國民總常會

【東京電話】決戰協力會議第二日會は東條首相の烈々たる[illegible]と企畫への[illegible]、小林次長、鈴木企畫院總裁、天羽情報局總裁の要請[illegible]一丸山本[illegible]の宣言のあとをうけて[illegible]三十六名の會議員が交々起つて民間に於ける協力と國政に於ける完勝國策完遂への民意を上通、擧國一丸の伏敵の決意を披瀝せしめた。即ち天羽情報局總裁はその要請に於て敵國米英の[illegible]は今や我國必勝の態勢に押され我國一億國民の赤誠を[illegible]と相對しつつあり、[illegible]自己の非を隠蔽しつつ無謀の[illegible]かに世界制覇の非望を遂げんとしてゐる状況を指摘、一億國民は不動の態勢を確保して守々たる戰局の推移に一喜一憂せず米英の[illegible]、戰力增強へ直進すべきであると強調した、次いで[illegible]午前十一時十分より午後八時まで[illegible]

勢力を集中した、代表會議員の宣言中には「決戰下不急部門は一時停止して從來の兵器の[illegible]せよ」―多田滿長氏「勞務能率の[illegible]を確保するため國家の統制下に[illegible]せよ」―小畑忠良氏「必勝戰力の確保向上に科學技術者の會議を設置せよ」―下中彌三郎氏など注目すべき國民決戰態勢強化の諸提案がなされ、食糧增產についても[illegible]など國民生活に相應しい協力態勢の[illegible]、流れる汗を[illegible]して決戰生産決戰生活の必勝に資する熱意を示した、斯くて午後八時第一日の會議を終つたが、第二日たる十五日は午前八時から各部會に分れ、折から第二部會は決戰下食糧の問題、兵力增強、企業整備、食糧增産、決戰生活確立等の[illegible]を一括して今次協力會議の重點を盛り上げる

多面に亙る眞摯意見
決戰精神の協議議題

【東京電話】中央協力會議第一日は午前十一時十分協議に入り、先づ決戰精神に關する部會につき[illegible]

高田元三郎氏（各界）[illegible]

八木秀次氏（各界）[illegible]

多田滿長氏（各界）[illegible]

富士井末吉氏[illegible]

朝比奈策太郎氏（各界）[illegible]

富塚清氏（各界）[illegible]

花木チサヲ女史（東京）一、家庭に有閑婦人を無くすることを目的として大日本婦人會の[illegible]

酒井伊四郎氏（福井）[illegible]

猪飼博氏（京都）[illegible]

後藤直太氏（愛知）[illegible]

小畑忠良氏（各界）[illegible]

中村喜民氏[illegible]

町田辰次郎氏（各界）[illegible]

下中彌三郎氏（各界）[illegible]

宮田武太郎氏（各界）[illegible]

大内竹之助氏[illegible]

青山[illegible]氏（各界）[illegible]

多田[illegible]吉氏（各界）[illegible]

辻誠之氏（北海道）[illegible]

寺井久信氏（各界）[illegible]

浦田善之氏（奈良）[illegible]

高橋英志氏（鳥取）[illegible]

今井梧樓氏（長野）[illegible]

朝倉昭郎氏（東京）[illegible]

秩序を保持企業整備
鈴木企畫院總裁の發言
愈よ國民總力發揮

【東京電話】鈴木企畫院總裁は十四日の中央協力會議に於て[illegible]

鈴木總裁發言[illegible]

航空機の生産[illegible]

企業整備は[illegible]

國民各位である、そして[illegible]

小委員會設置
翼政の增產推進

【東京電話】[illegible]

第三期食糧非常增産

【東京電話】協力會議は午後三時五十五分[illegible]第三期食糧[illegible]

四委員會に分け委員長指名

【東京電話】[illegible]第一委員會[illegible]第二委員會[illegible]第三委員會[illegible]第四委員會[illegible]

皇軍に感謝決議

【東京電話】十四日の中央協力會議に於て滿場一致可決せる「皇軍感謝決議」左の如し

皇軍感謝決議

[illegible]

敵機十一臺擊墜
海鷲レ島方面に空戰

【○○基地十四日發同盟】去る六月三十日レンドバ島に上陸、我を攻擊し來つた敵はその後ニュージョージア島東南部及び西北岸に相[illegible]

七月十一、十二日の兩日我が[illegible]

ペナペナ大爆擊

【ブエノスアイレス十三日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋[illegible]

時局は益々深刻へ
國民的意氣を昂揚
天羽總裁發言

【東京電話】中央協力會議に於ける天羽情報局總裁の發言要旨左の如し

昭和十四年ヨーロッパに於いてドイツと英佛との間に戰爭が始まるや米國はこの機會に乘じてかねて[illegible]

凍結　してしまつた、[illegible]

惡罵　をなすは彼の本心を[illegible]

排斥　してゐる、[illegible]

結成　した、[illegible]

非望　を遂げ物質文明、[illegible]

戰意　を喪失せしめんとし[illegible]

野望　に出でたる戰爭であ[illegible]

深刻　で[illegible]

前線　における我が勇士が[illegible]

二百六機擊墜
獨軍一日中に

【ベルリン十四日發同盟】[illegible]

獨機倫敦爆擊

【ベルリン十三日發同盟】[illegible]

政治犯釋放
狼狽の印度政廳

【イスタンブール十一日發同盟】ニューデリー來電に依ればインド[illegible]

人事

[illegible]

けふの官報

[illegible]

うまみのある貯蓄

小口で出來る綜合的投資法―合理的で安全で其上うまみのある貯蓄法の出現！
皆さんの小口資金を纏めて買つた國債、社債、株式を一口五百圓に分けたものが
山一の投資信託です
お一人樣幾口でも御利用下さい。
只今第八次申込受付中
說明書進呈
山一證券臺北支店
臺北市京町二ノ十一

有斐閣・新刊
東京神田神保町　振替東京三七〇

勞働法の主要問題
九大教授　菊池勇夫著
價五・八〇　送三〇

政學科研究年報 第八輯 私法篇
台北帝大文政學部
價五・二〇　送三〇

日本經濟法學會年報(3)
日本經濟法學會編
價二・五〇　送二〇

歐洲經濟史（中世）
田中善治郎著
價四・三〇　送三〇

增訂 金融統制の理論
一谷藤一郎著
價六・〇〇　送三〇

健民強兵
運動用品
（登山用具一式）
臺北市榮町四
臺日運動用品販賣部

改造文庫 新刊

駒井卓著
ダーウィン傳
定價九十五錢

山本光雄・副島民雄共譯
ユーベルエーク 大哲學史 古代篇第三卷
定價一圓六錢

濱口駒造訓註
舊事紀
定價七十二錢

大藏虎光著・笹野堅校訂
狂言不審紙
定價七十二錢 七月下旬出來

橘千蔭著・森本健吉校註
新註 萬葉集略解（二）
定價六十二錢 近日出來

本居宣長著・風卷景次郎校訂
古事記傳（二）
定價[illegible]

最寄書店に御豫約下さい

臺灣總督府官報
月極購讀一ケ月四拾五錢
地方ニテ官報ノミ御希望セラルル向ハ郵稅一ケ月二十八錢ヲ要ス
外ニ月別保存用官報一冊金九十錢
發賣所
臺灣日日新報社
島內各臺日取次店

新女苑 八月號

現地座談會 前線の病院より
占領地に學ぶ日本の子供
僻村の兒童を護つて
千利休の母
偲べアッツの盡忠 山內義雄
空染む屍
七生村に皇后陛下を迎へ奉りて
土に伏す者 今日出海
特輯 働く心働く姿
・國民動員と未婚女性・町田辰次郎
・勤勞女性の歌・齋藤史
・體驗から得たもの・川合照子
表紙・伊勢正義

社説

國民よ、即刻戰鬪配置につけ

東亞、歐洲の戰局急を告ぐ

一

下手な素人の芝居の科白よろしく「秋の木の葉が散り敷く頃、[illegible]中國及びその他の戰線の各所で米英の攻勢が展開されるであらう」といつたチヤーチルの豪語が果して實現するかどうかは別問題として、北阿作戰の一段落とともに、英米聯合軍の地中海方面に於ける活動が顯著となつたことは、南太平洋ソロモン群島附近に於ける米濠聯合軍の反攻作戰とともに極めて注目すべきものがある。即ち、地中海方面に於ては、六月中旬の伊領パンテラリア島占領についでランペドウサ島、ランピオン島等を相ついで攻略、七月に入つてイタリア本島と一衣帶水のシチリア島に向つて上陸を敢行し目下激戰を續けてゐるといふ以外、[illegible]

[illegible]

陸運非常體制確立

自動車交通事業法改正

鐵道省では[illegible]八月一日より實施[illegible]

[illegible]

全國に八地區會議

翼壯、地方活動の指導に完璧

[illegible]

生活必需品を確保

南方圏輕工業の現狀（下）

比島　[illegible]

纖維　[illegible]

製紙　[illegible]

洋灰　[illegible]

燐寸　[illegible]

ペイント　[illegible]

ビルマ　[illegible]

香港　[illegible]

泰、佛印　[illegible]

（完）

協力する挺身隊

ニユーギニヤの決戰には原住民パプア族も[illegible]（陸軍省許可濟 第一〇一號）

食糧配給適正期し監察員制度實施か

[illegible]

自作農創設新方策

産組の更生貯金制

[illegible]

遊休紡機緬甸移駐

日本の道義的態度表明

[illegible]

家計調査指導員事務打合會

[illegible]

本島炭の増産對策

[illegible]

臺灣商議所の電話

[illegible]

臺灣茶の近情

[illegible]

決戰　貨物の取扱

[illegible]

石炭増産の隘路克服策

勞務における量と質

[illegible]

質の改善向上

[illegible]

（一粒拾者）

嘆きの米英

英國人手不足

[illegible]

英、道德の頽廢を嘆く

[illegible]

チヤーチルの胸像に異議

[illegible]

アラスカ公路に中學生

[illegible]

新竹州の木炭非常増産對策

[illegible]

集團貯金等取扱停止

郵便貯金規則一部改正

[illegible]

臺灣清涼飲料水工[illegible]

[illegible]

花蓮港廳で水産試驗船建造計畫

[illegible]

脫穀機の大量生産

[illegible]

製紙會社設立計畫

[illegible]

商銀總會

[illegible]

市況（十四日）

東京長期前場　[illegible]

東京短期前場　[illegible]

兜町前場況　[illegible]

兜町後場況　[illegible]

大阪短期前場　[illegible]

東京國債前場　[illegible]

東京銀行實株　[illegible]

東京長期總取組　[illegible]

大阪短期後場　[illegible]

東京長期後場　[illegible]

東京短期後場　[illegible]

勤勞女性の清粧に
資生堂水白粉

一億の赤心凝集し

ペナンの消防夫

今日の映畫

一億の赤心凝集し 勝拔く決意横溢

國民總常會決戰へ驀ら

【東京發】一億國民の燃え滾る赤心を結集した全國民の總常會中央協力會議は三部形の内大東亞會館に於て十四日午前九時内外の

注視 を浴びつつ歷史的大會議の幕を切つたがこれより先き午前七時會場の部屋々々の窓は開け放たれて翼賛會の役人達が早くも [illegible]

議事 は豫定通り [illegible]

體驗 をもつた [illegible]

有閑女性抹殺

女性も勤勞總動員

花木チサヲ女史力說す

【東京發】第二日の中央協力會議總常會に [illegible]

勞力 の [illegible]

教養 ある女の家庭指導に [illegible]

注目 すべきものがあらう [illegible]

明治 神宮参拝を終へて [illegible]

同性 への [illegible]

不急教育の停止提唱

盛上る學徒動員への要望

【東京發】決戰下教育制度の急速な [illegible]

決戰 に即應せざる教育の [illegible]

十一時間餘りの敢鬪

終日 各員の發言に [illegible]

【東京發】 [illegible]

猛暑 と謳つた一日か [illegible]

忠魂弔ふ合同告別式

廿日 第四部隊營庭に嚴修

【臺南電話】大東亞戰爭勃發以來一 [illegible]

英靈無言の凱旋

【花蓮港電話】ジヤングル戰の英 [illegible]

故山本元帥に手向く

初陣に屠るB一七

ソロモン、海鷲の實戰談

【東京發】〇〇基地發 [illegible]

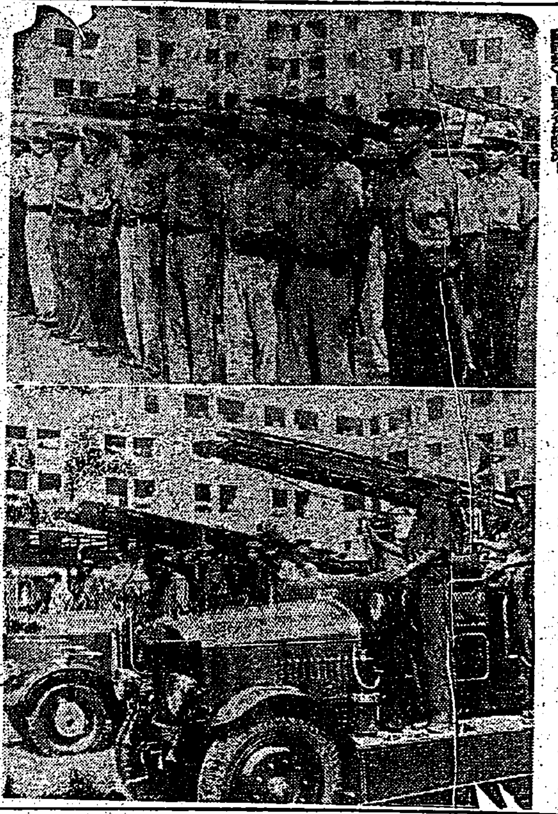
N中尉 五日は故山本元帥の [illegible]

M飛曹 私は一番後の飛行 [illegible]

S二飛曹 私は飛び上つて〇〇隊の後を追つ [illegible]

高橋大將歸途へ

同十四日 [illegible]



ペナンの消防夫

[illegible]

基隆神社移轉先決る

顏家庭園一帶四萬餘坪を充つ

【基隆電話】基隆市民多年の [illegible]

顏家 一同の十分なる理解 [illegible]

寄附 と云ふ事で [illegible]

先づ施設から着工

竹中市長 敷地決定につき語る

神社 豫定地となり [illegible]

資材 [illegible]

一家一門の譽れ

顏欽賢、芳川德潤氏語る

基隆 の顏家庭園の一部は [illegible]

ゆけ若人！大空へ

海軍甲種飛行 豫科練習生志願締切り迫る

大空 に試して空の [illegible]

志願 者に定められた [illegible]

初めて迎ふ總理大臣

東條首相歸京の途那覇を視察

【那覇特電】東條首相は十一日午後三時三十五分 [illegible]

血書・海軍へ志願

花蓮港、山の青年赤心迸る

【花蓮港電話】 [illegible]

海洋思想を普及徹底

『海の記念日』の行事決る

家財の燒失も顧ず 軍用被服を護通す

殊勳の三婦人再度表彰さる

【臺南電話】 [illegible]

防空展覧會に 事務無償提供

臺北市城内 [illegible]

よい子小遣を節約して獻金

基隆市時局講演會 講演者、演題決る

二期作米の增産へ督勵隊

ナリス 藥用クリーム ヘチマコロン お肌の活力を高める 強力殺菌性 藥用クリーム

工事入札公告 財務局會計課

橫山茶業株式會社 差阿新 業崇戴

送金小切手 安田銀行

夫片山武儀 病氣療養中ノ處養生不相叶十四日午前四時四十分死去致候間此段生前知諸彦ニ謹告 候

大內義雄 迫田三郎 木原四郎 恒吉傳 竹內虎雄 後藤薰 榮子

父石鑾遠儀豫て病氣の爲臺北帝國大學附屬醫院に入院療養中の處藥石無效七月十四日午前十一時逝去致候間此段謹告仕候

石川 石 石 石 中 趙 陳 明 有 佐 檜 黃 宏 麗 錫 香 進 壽 丙 朝 一 勉 田 知 藤 垣 重 延 三 德 元 再

當會社重役石鑾遠殿豫而病氣ノ爲臺北帝國大學附屬醫院ニ入院療養中ノ處藥石無效遂ニ去ル七月十四日午前十一時逝去致候間此段謹告仕候 昭和十八年七月十五日 臺灣製材株式會社 蘭陽乘合自動車株式會社 蓬萊糖業株式會社

當組合理事石鑾遠殿病氣の爲臺北帝國大學附屬醫院に入院療養中の處藥石無效遂に去る七月十四日午前十一時逝去被致候間此段謹告仕候 昭和十八年七月十五日 宜蘭信用組合

新竹春競馬 七月 十六日（金） 十七日（土） 十八日（日）

民事、刑事、法律事務 辯護士 古山春司郎 事務員 林三雄 臺北市南門町三ノ二 電 九六七五番

今日の映畫 大世界 台劇 新世界 芳乃館 芳明館 城南映劇 萬華劇場 太平館 第三世界 國風劇團 樂座

臺北州合同興行會社 中央劇場 基隆世界 旭劇場 大和劇場 羅東座 宜蘭座 昇平座 基隆・蘭陽地區

東寶國際館 15日ヨリ19日マデ 日本ニュース 7時0分 馬部隊 7時10分 江戸の朝霧 基隆劇場 20日マデ 日本ニュース ホームグラフ ここでも戰つてゐる 青空交響樂

戰ふ女性に農民魂

農村婦人の責務果せ

女子勸農道場けふ開設

慰問劇で勇士慰問

彰化市畫劇競演會

貯蓄熱日毎に揚る

郵便貯金二十八萬圓

屏東市

六六二六五はどなたです？

米英擊滅は正條密植から

篤農家懇談會で叫ぶ

員林郡

遺兒の臨海林間錬成會

嘉義紙芝居競演盛況

市民合唱團嘉義

希望者は即刻申込むこと

けふ戰歿勇士の追悼法要

皇土防衛固し

敵機來るなら來い

潮州日婦の國防訓練

羅東郡日婦街庄分會長會議

一、國民貯蓄增强に就て

一、食糧增産に關する件

一、國防訓練、慰問袋調製及廢品並に金屬類回收の件

一、苿莉栽培に關する件

鯉苗年産五百萬匹

州下養殖業者に配給

高雄州　水産資源確保に拍車

健民部落建設へ

桃園郡健民指導委員置く

新莊華僑公會が獻金

よい子獻金に熱意

空の防人へ寄金

陸軍少年兵は語る（五）

若人よ少年兵に續け

氣にするな學力、先づ體力

全國少年への要望

出席者

太田生徒（陸谷那）全國の小國民諸君よ、我々の若さと熱でこの國土を護り飾をやつつけよ、我々の手でこの戰爭は勝めて完遂出來るんだ、我々の若さと熱で必らずこの戰爭をやり遂げよう

陸軍少年通信兵學校

芝田學四郎（京都府）

陸軍兵器學校

蓮田裕一（奈良縣）

陸軍防空學校

寄木須賀男（愛知縣）

山口次男（鹿兒島縣）

陸軍戰車兵學校

池田宏（新潟市）

陸軍重砲兵學校

大塚浩千葉（千葉縣）

陸軍少年戰車兵學校

羽根昌彦（三重縣）

坂井英一（群馬縣）

陸軍少年飛行兵學校

神宮三郎（神奈川縣）

伊藤友一（愛知縣）

大田一男（岡山縣）

陸軍航空整備學校

西俊男（石川縣）

加來勇（福岡縣）

東京陸軍少年飛行兵學校

土谷力雄（東京都）

入口英（山口縣）

強い母になれ

死亡率はまだ高い

家庭

（飯塚仕職）

盂蘭盆と供養

戰病歿英靈への回向を

七月十五日は盂蘭盆の中日であります、この日は入佛の靈に當してむから迎へ火をさかせる日でありますが、

㊅

㊃

㊈

㊄

子供の夏

水泳と蟬取に注意したい事

夏の

この

赤誠の獻金

アッツ島に於て玉砕將兵の英靈に香華料贈呈者連名簿

臺北州

新竹州

臺中州

臺南州

高雄州

花蓮港廳

臺東廳

赤誠厚生便り

新竹州

羅東郡

桃園郡

ラヂオ

第一放送

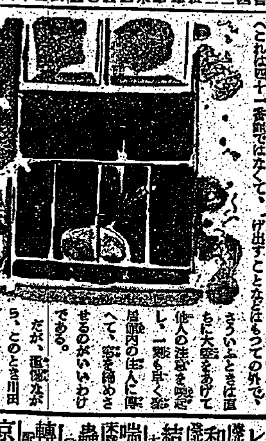
第二放送

椰子（4）

海野十三作

村上松次郎繪

珍客（四）



（これは四十一番館ではなくて、

キキメで評判のベルツ丸

健康で御奉公

ベルツ丸は病弱、胃腸、冷え症、病後衰弱、肺炎、便秘、慢性病者、吹出物等に効

三圓・五圓・十圓　東京　鈴木日本堂

熱血の學徒よ大空へ！

15日より19日まで

痛快興味篇

市川右太衞門

高山廣子

競演・天保遊俠錄より

江戸の朝霧

冷房完璧

東寶直營國際館

昔も今も

効能で賣れる

七ふく

ひえぐすり

逆上を引下げ・便通をよくし・胃腸を整へ・りん病・諸毒を下す

大阪高津表門筋

本家　七ふくや伊藤長兵衞

振替大阪九七三・電南二七九二

案内

小型

技工

事務

校正

帳場

女中

女中さん

タイピスト

看護婦

生徒

アザ

齒科

櫨材

電話

家貨

住宅

住宅

引越

印畫

寫眞

レコード

和音

結婚

喘息

蟲下し

轉勤

京染

靴類

メガネ

斷食

新古

萬年

蚊帳

時計

肺病ろくまくに

全快者の表彰

專門藥

中風藥　十八円

胃腸劑　十八円

治淋劑　十五円　廿七円

驅毒劑　八円　十四円

臺灣

有田ドラッグへ

文化木炭

發明

山口縣

ピンデン

護れ寸土も神の國

南京蟲根絶樂

京都市吉祥院

京都農藥株式會社

意匠・商標・懇切取扱

辨理士　井上清子特許事務所

中年の奥さまへ

三十すぎから四十代、五十代になると、

ギナンカプセル

中野高等無線電信學校

夕刊
臺灣日日新報
七月十四日

必勝の體制着々強化
決戰生活實踐に徹す
東條翼賛會總裁の挨拶

東條首相

【東京電話】第四回中央協力會議劈頭における東條首相翼賛會總裁の挨拶内容左の如し

大東亞戰爭勃發以來既に一年七箇月、廣大なる範圍に亙り御稜威の下皇軍將兵は益々その威價を發揮し赫々たる戰果を擧へつつある、あらゆる困苦を克服し身命を抛つて勇戰奮鬪する忠勇無比なる陸海將兵の勞苦は眞に並々ならぬものがあるのであつてわれわれ國民の齊しく感謝措く能はざるところである、この間一死も[illegible]

哀悼と感謝の誠を

大東亞十億の團結

身をもつて國難に

軍官民眞に一體と

必勝國策貫徹、總實踐
決戰完勝、一億の總常會

誓

必勝報國を誓ふ
神社參拜、宮城奉拜

決戰生産、決戰生活
小林議長挨拶

緊急議題の三つ
代表議員の心構へ聽く

戰力增强企業整備
翼賛會の協力具體案成る

阿部總裁挨拶要旨

一億敢鬪實踐運動
翼政代議士會指針を闡明

大戰完勝態勢完整
大東亞民族金輪の結團

軍政の三大綱指示
マライ州長官會議開催

佛國務會議

商工省委員も九班を組織

シチリア反樞軸軍を殲滅
獨軍當局滿々の自信

滿鐵總裁更迭
後任に小日山氏

シチリア敵艦船多數擊沈破

東部戰局稍緩漫化
獨軍の決定的戰果で

駐日獨逸大使重光外相訪問

航空研究所を岡部文相視察

山内警務局長上京

人事

食慾は進み、身體が肥る
胃腸自力健康器
使用は簡單 女も子供も老人も
のぼせ性にも便秘症にも！

胃腸弛緩症
エビオス
夏季……に多發する食慾不振、便秘下痢など…ビタミンB不足に起因する諸症状の矯正にエビオスの投與が效果的
發賣元　大日本麥酒株式會社
東京・大阪　田邊商店
（藥店へ）

微生物製劑中の白眉である〝イースト〟をのひと「徴生」を示すものである。
國と國との戰爭でも結局は經濟戰であり消耗戰であるとひとしく人體の故障「病氣」を回復する闘病の場合もやはり體力の經濟點と考へられる榮養問題が基本となるのであつてもしドシ〳〵と榮養が繼續する時は、大概の病氣は早く治癒の轉歸を示すものである。
胃腸がありありと強化され消化吸收率がグンと昂まる結果、痩せて蒼い顏をしてゐる人がドツシリと重くなりて血色が紅くなるに伴れ健康を回復する。イーストは二圓十四錢五圓三十五錢で藥店にある
イーストを服用すると胃腸強化で病弱解消す
京都府東宇治　マルキイースト菌研究所創製

づつうにサール

創傷　火傷
面疱　瘡癤　腫疹　痒炎　眼疾　痔
◎創面を淨化して化膿を防ぎ、肉芽の新生を促進し、或は化膿部自潰して切開を待たず治癒する等、輕便にして快速なる效果を擧ぐ實用せらる
第一製藥株式會社　東京・大阪
テラポール軟膏

廿日は第三回海の記念日

若人よ戰ふ海に續け

一人でも多く海の防人へ

丸山船員局長強調

【東京電話】遞信省海務院では大日本海運報國團を始め關係各省、各團體と協力して第三回海の記念日、廿日を中心に全國一齊に船員の[illegible]を擧げるが、更に船員とその家族、船員遺族家族、[illegible]從業者、海員戰士への感謝決意のため種々の運動を展開、國を擧げて海への熱意を喚起するが、この秋に方り船舶運營會船員局長丸山直友氏は皇軍將士にも比すべき船員の光榮を謳ふと共に『勝利は海から』の合言葉の下に國民に呼びかける"空への決戰場へ續け"に呼應して『青少年よ戰ふ海に續け』と語り、一人でも多く海の防人たらんことを熱望した

丸山船員局長談 南北一萬[illegible]里に及ぶ廣大な戰場に我が[illegible]の不斷の猛攻は申すに及ばず又一女その一翼をなす我が[illegible]の協力熱誠は益々擴大されて船舶はいくらあつても十分であると云ふ譯にはゆかなくなつた戰爭が今日の段階は既に建設段階に入つてをり攻略と共にさらねばならぬのだ、更に友邦を援助せねばならぬ、ビルマの獨立を授け比島の自立を指導するが如きその大きな現實の一例である、我が攻略部隊の補給を[illegible]と同時に建設を急ぎ日本を盟主と仰ぐ共榮圏十億住民の生活を保[illegible]せねばならぬ、その上有無相通するために占領地の所産を內地に運んで生活原料として[illegible]はこれを共榮圏の住民に分たねばならぬ、この仕事が[illegible]十分に實施されて始めて我々[illegible]に[illegible]、米も心配がない[illegible]國家、諸工業原料、化學資源も充足されるのであるが、これを行ふのが船員である、これを全日本の父兄、[illegible]者に十分に理解してその子弟に門出を勸めて頂かなくてはならぬ、今日既成船員諸君は將兵に劣らぬ辛苦を續けひたすら奉公の至誠を盡してゐるが、この涙ぐましい努力を續ける先輩船員の意を援助する意味に於て青少年の多數が後續部隊として船上職域に殺到することを切望してやまぬ

國民貯蓄完了者は約八十%

花蓮港市好成績

【花蓮港電話】米英擊滅貯蓄の完[illegible]を目ざし花蓮港市が全島初の試みとして實施した[illegible]貯蓄[illegible]は[illegible]各戶もれなく門口にはりましようと全市の貯蓄報國の家を目ざして行ふ國民貯蓄運動[illegible]は十二日から開始されたが第一日の成績は八日[illegible]のうち六百四十一戶の完了證交付を見、ざつと八割で全戶完了にもう一息と云ふ所であつた、しかし未完了者もおくれを取つてはと銀行、郵便局等に押し掛けて貯蓄を斷行して[illegible]第二次、第三次の検査[illegible]市貯蓄報國の家となる日も遠くあるまい、[illegible]二十日迄に市內の検査を完了の筈

廈門至誠會女子奉公團正副團長任命

【廈門十二日發】[illegible]留本島人青年の志願兵志願熱に呼應して女子青年の新生活運動は最近頓に活潑なる動きを見せてゐるが、これら女子青年七十餘名を以つて結成せる廈門至誠會女子奉公團は十二日[illegible]第二回總會を[illegible]において開いた、[illegible]

大東亞文學者大會

今夏・再び東京に開催

【東京電話】大東亞共榮圏內の[illegible]文學者が一堂に會して文化協力の方策を議する大東亞文學者大會は昨秋第一回を東京に開催、多大の成果を收めたが、その第二回大會は[illegible]なる決戰の最中に來る八月二十五日から十日間再び東京に開かれる、今回の大會は日本文學報國會主催、情報局、大東亞省、[illegible]省後援の下に日に日に[illegible]の度を加へる共榮圏內の決戰[illegible]に對應して名稱も「大東亞決戰文學者大會」と銘打つて開かれるもので更に文化的協力の意思を確立するに止らず眼前の戰ひを戰く[illegible]まで戰ひ拔く決意とその方策とを[illegible]を開いて[illegible]し同時に[illegible]の其他の方法によつてわが國[illegible]の戰鬪と力強く[illegible]する國力の偉大さを[illegible]して各國文化人の[illegible]協力を促進させる、參加國は日本、滿洲國、中華民國、タイ國（未定）であるが日本約三十名、滿洲國五名、中華民國二十名、タイ國三名の參加代表の中各國代表は大東亞省から正式に相手國に[illegible]方が[illegible]され會[illegible]は大東亞會館で「大東亞[illegible]共榮圏[illegible]の理念の[illegible]化及び[illegible]協力方法」を[illegible]にして

一、大東亞文學の確立及びその本質の檢討

二、共榮圏內における文學者の活動報告

三、大東亞文學賞の設置

その他を[illegible]するが正式代表の外インド、ビルマ、佛印、ヒリッピン等の共榮圏からも多數に列席する豫定である

海志、激增の一途

【新竹電話】新竹州下の海軍志願兵志願者はその後益々增加し十三日には大湖部一千名、桃園、苗栗部部も同様の志願があつた[illegible]報告あり、新竹署でも[illegible]して居る者多く十四日中には[illegible]八百名になる豫定で締切り迄には州下全體で四萬名になるものと見られてゐる

海志へ血書志願

海へ征く、憧れの海へ、[illegible]太平洋は今や若人の進むところとして本島青年の血を沸かしてゐるが、臺北市下[illegible]町二ノ二四、日本綿[illegible]君（二三）は[illegible]に老いたる母と妹一人を殘し臺北で活躍してゐる青年で[illegible]の許可もよいが、[illegible]受付開始以來この時を逸して再び[illegible]に起ち國家に報ずる日はないと十二日夜[illegible]出所に血潮の[illegible]も鮮かに"七生報國"と大書した志願書を提出、採用方を[illegible]出て

賞賜物件傳達式

【基隆電話】基隆市では十四日午前十時より市役所會議室に於て外[illegible]之助翁外六十六名に對する支那事變[illegible]賞賜物件傳達式を擧行した

"まづ指導者が率先

"お早よう""お暑う"

これこそ"一億一心"の基

【新竹電話】皇奉新竹州支部では昨年來[illegible]の生活、[illegible]の生活、奉公班の[illegible]化の三項目の[illegible]を[illegible]、成果を[illegible]めてゐるが、この時局下一億一心、[illegible]一家の[illegible]を[illegible]するには官民あげてもつと親しみ深い生活をせねばならぬと朝晩の挨拶を[illegible]させ指導階級が[illegible]に出かける時は自らさきに挨拶してお互ひに[illegible]心を交させることとなり十二日附各支部長あて[illegible]方を通牒した

戰局に應へ猛運動

皇奉桃園郡で協力會議

【新竹電話】新竹州下の皇民奉公運動は[illegible]活潑な[illegible]を見せ州支部では指導組織の强化[illegible]に力を入れ、八月からは支部長以下各部長、役職員を總動員し夫々[illegible]區域を定めて支會、分會、部落會、[illegible]會、一般[illegible]を夫々指導するが桃園郡支會では十萬郡民の[illegible]協力體制を確立し戰力增强、戰時生活の徹底[illegible]を期すべく[illegible]支會長を中心に毎月二十七日を定例日として支會委員、奉公委員、各分會長、[illegible]奉公壯年團長、[illegible]部民協力會議を[illegible]することとなつた、正に[illegible]に先鞭をつけたもので此の七日の第一回協力會議は[illegible]國家の協力體制、右に對する官吏、[illegible]、會社有力者の連繫協調と行政政策の[illegible]、下部組織運營の强化等に付いて協議する事になつて居る

每月廿七日

露店の利益金國防費へ獻金

臺北市人船町三ノ[illegible]七九林榮さんは[illegible]と二人[illegible]

定額、積立貯金

近く臺灣に實施

【東京電話】遞信省では一昨年秋以來內地において實施しつつある定額郵便貯金及び積立郵便貯金を擴大並びに各外地にも施行すべく準備中であつたが、十三日の閣議において正式決定を見たので近く公布、來る二十日より實施する、今次の改正に依り樺太は定額貯金のみを朝鮮、臺灣、關東州及び南洋などは定額積立の兩貯金を施行するが、その利率は次の如くである

定額貯金

內地 現行利率二分八厘五毛乃至三分三厘

同六 三分一厘乃至三分五厘

朝鮮 同上

臺灣 同上

關東州及び南洋 三分一厘乃至[illegible]三分六厘

積立貯金

內地 三分

朝鮮 三分二厘四毛

臺灣 三分二厘[illegible]

關東州及び南洋 三分二厘六毛

南方派遣の給仕君建艦獻金

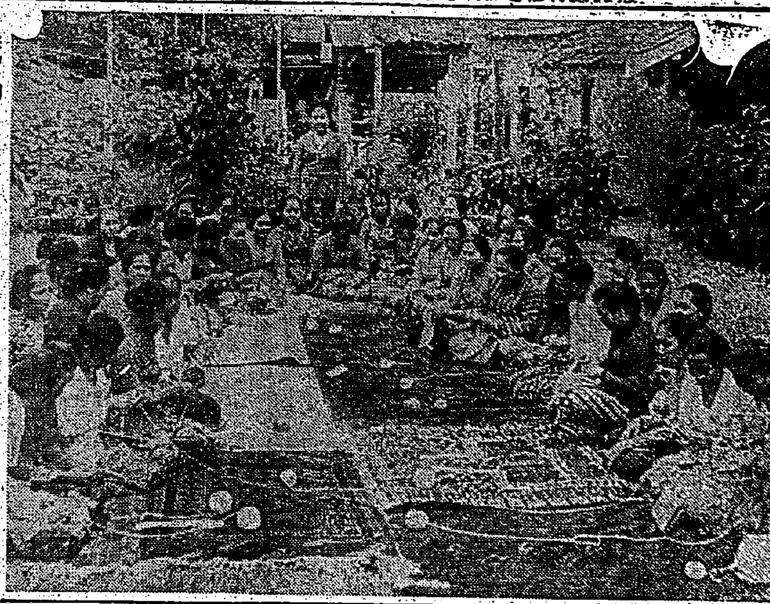
【新竹電話】昨年皇民奉公會の推[illegible]で採用した南方派遣給仕に[illegible]した新竹州出身[illegible]君は目下ビルマ〇〇州廳に勤務してゐるが同君は此程わざわざ第一回から金五圓を皇奉州支部宛の建艦獻金として送金し來たり、それと共に大要次の如き書簡を州支部宛[illegible]して來た

市民の錬歩大會

白衣勇士を招待運動會

十八日盛大に開催

[illegible]臺北市支會では本月が[illegible]期間に當るので市民の心身鍛錬を圖るため十八日の日曜日に一般市民[illegible]一萬餘の參加を得て市民錬歩大會を開催する、當日は午前八時に北警公園に集合の後、出發、[illegible]を[illegible]て北投公園に[illegible]、[illegible]北投グラウンドに白衣の勇士[illegible]を招待して大運動會を[illegible]



ジヤカルタの婦人たち

兵隊さんへ感謝の靴下

のほどジヤカルタ[illegible]婦人部の[illegible]により兵隊さんへ感謝の靴下を贈るべくヘルジアン女史の宅に於てソーペンドン[illegible]の手で[illegible]に[illegible]者は[illegible]く〇〇部隊を[illegible]れ兵隊さんへ贈ることになつた

正に超決戰型結婚

前線勇士と寫眞で見合

軍國乙女の心意氣嬉し

【花蓮港電話】國のために第一線で戰ふ兵隊さんに若き乙女の一生を捧げて、家の一家にとぐといふ時下超決戰下[illegible]の婚姻[illegible]を[illegible]する[illegible]式が今生れようとしてゐる——その話りは花蓮港[illegible]俱樂部[illegible]の間に出征してゐる[illegible]の下に[illegible]で話[illegible]しようといふ意向が[illegible]し、これに[illegible]同した同俱樂部[illegible]が目下米人の役を引受けようと申出たところから具體化されたもので、決戰[illegible][illegible]

健保普及中央協議會

【東京電話】決戰下國民保健の確保向上に重要な役割を果してゐる國民健康保險組合を昭和十七、八年[illegible]

富士山へ輸送演習

成果收めて下山

【吉田發】十二日富士山頂上に[illegible]陸軍[illegible]部隊は十三日[illegible][illegible]

眞空管にも回收制

廢球は一錢で買上げます

【東京電話】電球と眞空管は八月一日から古いものがないと買へなくなります……[illegible]

白衣の勇士を慰問

南方要員夫人の常會

【新竹】新竹市に住む南方要員の奥さん達は[illegible]

玉碎勇士に童心も感激

香華料贈る

アツツ島守備部隊將士の壯烈な玉碎[illegible]

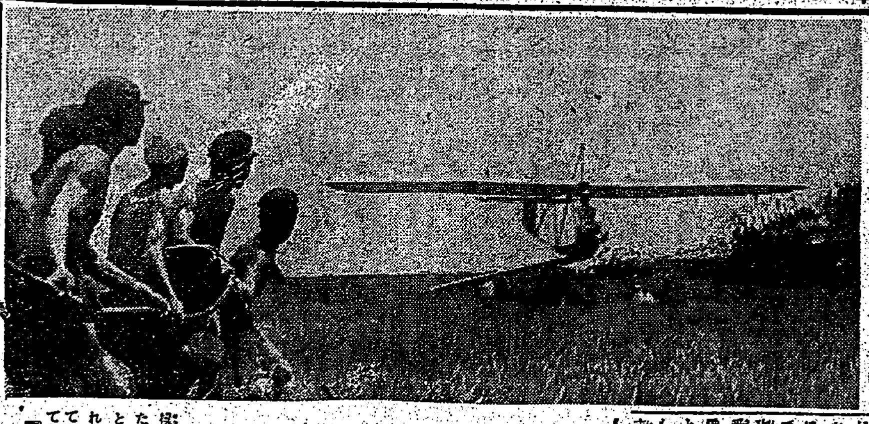
優良奉公班十七日表彰式

臺北市の優良奉公班九十一班の表彰は[illegible]十七日午後三時から市民館で舉行する

若き學徒の滑空訓練 ③

猛訓練・鮮かな技術

賴母し未來の空の防人



臺北高校の卷…3

初級機DB—19號の訓練を終ると、今度は中級機である、[illegible]もずつと大きく訓練する生徒達も高等科から成りさすがに本格的なもの[illegible]、各々十四名に揃へ[illegible]の[illegible]を[illegible]たるものである、[illegible]と直線に伸びDB—503と[illegible]かれた黒いペンキが[illegible]かに浮び上つてみえる、どうやら風も[illegible]くなつて來た、絕好の飛行天候である

『風が出たぞ』

「うん、この分なら三十米は滑[illegible]

[illegible]

特別訓練が[illegible]

（寫眞は訓練の一齣）（つづく）

無集配郵便局

花蓮港市に設立內定

【花蓮港電話】[illegible]

大久保利武侯

國校上棟式

甲科練習生ら

旅館、列車荒し逮捕

明朝の番組

[illegible]

後三國志

（出師の卷）

(149)

吉川英治作

矢野橋村畫

馬謖を斬る（一）

[illegible]

いんきん・たむし・水虫

セーキン

[illegible]

クスリはホシ

下痢？ 御心配無用！

ホシチヤコール錠

星製藥株式會社